

10/14(日)



コスモス畑の中をシュッポシュッポ

北郷里公民館周辺で開催された「北郷里フェスティバル」。地域内の世代間交流を図ろうと、地元連合自治会を中心に計画されたもので、子どもからお年寄りまでの大勢の方が参加されていました。隣接するコスモス畑では、ミニS Lが運行され一日中大賑わいでした。

10/21(日)



大規模地震にみんなで備えよう

高島市を震源とする大規模地震を想定した「総合防災訓練」が、全市域で行われました。第1部は各自治会で避難訓練等、第2部は浅井中学校でバケツリレーや倒壊した建物からの救助訓練等が行われ、参加された約1,700人が真剣な表情で取り組まれていました。

10/4(木)



たくさんおいもがとれたよ

長浜高等養護学校生が南保育園の園児32人を招待して、一緒にサツマイモ掘り体験をされました。園児たちは「いっぺんに5個もとれた!」などと歓声をあげ、とっても楽しそうでした。収穫後は、全員でふかしイモを食べながら交流を深めておられました。

ほっと にゅーす

このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ（☎6504）までお知らせください。



10月6・7日 アートインナガハマ



10月8日 豊公まつり

秋を彩る
長浜出世まつり

長浜城の再興を契機に始まった長浜出世まつりが今年も盛大に開催されました。和装が似合うまち長浜ならではのイベント「きもの大園遊会」には、艶やかな着姿の九百三十人が参加、約五万人の人手で賑わいました。



10月14日 きもの大園遊会



10/7(日)

親子仲良く手をつないで

1,107人が参加し、浅井文化スポーツ公園のふれあいグラウンドをスタート・ゴールに「あざいお市マラソン」が開催されました。ハーフマラソンの前に行われたファミリーの部では、子どもたちに手をひかれてゴールするほほえましい姿も見られました。

10/7(日)



救急蘇生は愛と勇気とAEDで

AED(自動体外式除細動器)の大切さを多くの人に知ってもらうために開催された「湖北蘇生フォーラム」。参加者は、救急蘇生法などの講演を聞いた後、AEDを使い、本番さながらの講習を受けられていました。



10/11(木)

いっしょに行くよ! よ〜いドン

豊公園自由広場で、約520人の親子が参加して「たんぼ運動会」が開催されました。子どもたちは、お父さんお母さんにいいとこ見せようと大はしゃぎ。会場は笑顔が絶えず、チャレンジ走や親子おどりなどを楽しみながら親子の絆を深めておられました。



10/14(日)

出口はどこ? 「コスモスの迷宮」

高時川と姉川が合流する川原の畑(約1.2ha)に地元の落合町自治会や営農組合が今年初めて「コスモス迷路」を作られました。遊びに来た子供たちは、自分の背丈の倍ほどもあるコスモスの中を大きな声を出しながら、出口を探して走り回っていました。

人

サイクリングで仲間づくり

みんなで楽しくサイクリングをされている『NOROW長浜・サイクリングクラブ』のみなさん。活動は、毎週1回100km程度のサイクリングと、年1回全国各地のサイクリングスポットめぐりなど。現在の会員は25名。最高齢の74歳のおばあさんは、昨年、足を手術したにもかかわらず、毎週の練習に参加し、今年の9月にはハワイで行われた大会で完走されたそうです。

また、びわ湖一周チャレンジサイクリングでは、参加者が楽しく安全に走れるよう、毎回ボランティアとして先頭や最後尾を走るなど協力もされています。

「登るのがきつい坂道があっても、みんなで声をかけ合いながらなら登れるものです。支え会える仲間や、グループを作ることは、暮らしのなかでとても大切なことだと思います。また、サイクリングは、誰でもすぐに始められるものなので、高齢者の健康づくりに役立つし、自転車は環境にもやさしい乗り物なので、もっと自転車に乗ってもらいたいですね。」と会長の早津康弘さん(宮司西町)。

